

# 日本初が7つある大学を創るといこと ～広島からグローバルへの挑戦～

広島県公立大学法人叡啓大学  
ソーシャルシステムデザイン学部  
学部長・教授 保井 俊之様

保井俊之氏は、2021年4月に広島県が広島を中心市街地に開学した叡啓大学の唯一の学部「ソーシャルシステムデザイン学部」の初代学部長・教授である。叡啓大学は全科目が能動学習で、「正解」のない課題解決演習は必修、広島からグローバルに直接開いている22世紀型大学であり、日本初のソーシャルシステムデザイン学部を擁し、7つの日本初がある特色ある新設大学である。

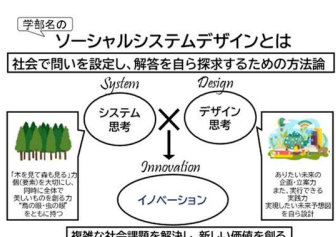


**日本初!** 社会を前向きに変える人材(チェンジリーダー)を育成、学士号を授与して世に送り出す「22世紀型大学」

**学部名: ソーシャルシステムデザイン学部**  
世界を視野に、SDGsの枠組みに基づき、Society 5.0の実現を目指し、新たな価値創造を行う突き抜けた人材を育成。

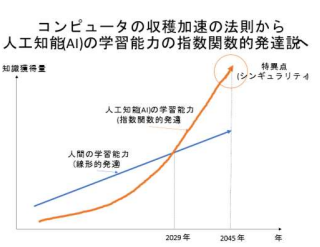
実践力	国際教養力	グローバル
<ul style="list-style-type: none"> <li>実社会のリアルな課題に挑む課題解決演習(PBL)</li> <li>体験・実践プログラム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リベラルアーツ</li> <li>デジタルスキル</li> <li>システム思考</li> <li>デザイン思考</li> <li>実践英語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広島の街全体がキャンパス</li> <li>確り自分の国際学生</li> <li>国際学生と集うキャンパス</li> </ul>

叡啓大学には、さらに6つの「日本初」あり



ソーシャルシステムデザインは、社会で問いを設定し、解答を自ら探求するための方法論である。「木を見て森も見ろ」システム思考と「ありたい未来を自ら実現する」デザイン思考をもとに、世の中に新しい価値を生み出すイノベーションを協創する。

叡啓大学開学の背景には、ここ数年の間にわれわれが経験しつつある、未曾有の社会変化がある。いわゆるシンギュラリティの時代が今後30年のうちに到来し、人工知能(AI)が過去のパターンを学習してこれまで人間がやってきた仕事の大半を担えるようになり、ホワイトカラーの大失業時代が来るとも言われている。30年後にAIが人間の学習曲線を完全に追い越し、今ある職業の半分はそれにとって替わられるからである。人間が担う仕事として生き残るのは、創る、つなぐ、癒す、の三タイプの仕事と想定されている。人間が担う職業の半分が消えるから、いわゆる「就職に有利な学問」の大半も消えるかも知れない。



**仕事: 今後30年間のうちに**

AI・ロボットにとって代られる	人間の仕事として残る
<ul style="list-style-type: none"> <li>電話セールス</li> <li>株式ブローカー</li> <li>税務書類作成</li> <li>銀行の窓口業務</li> <li>保険引受人</li> <li>ローンファイナサー</li> <li>クレジット分析・審査</li> <li>会計事務</li> <li>不動産ブローカー</li> <li>一般事務職...</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セラピスト</li> <li>ソーシャルワーカー</li> <li>聴覚機能回復訓練士</li> <li>栄養士</li> <li>ホテルマネジャー</li> <li>セールスエンジニア</li> <li>内科医・外科医・歯科医</li> <li>臨床心理士</li> <li>小学校教諭</li> <li>チューター...</li> </ul>

**仕事: 今後30年間のうちに**

AI・ロボットにとって代られる	人間の仕事として残る
<p>定型的なパターンを学習できる職業 =AIのディープ・ラーニングで代替可能</p>	<p>人の心を慮したり治したりする職業、これまでにない事象に対する職業 =AIのディープ・ラーニングでは代替不可能</p>

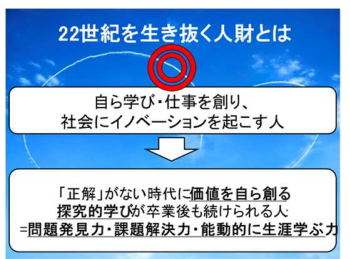
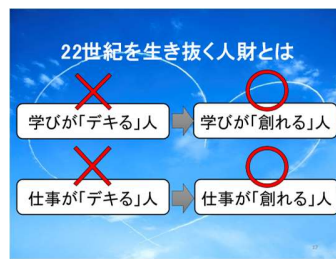
**デザイン、創造し、癒す仕事**が人間の手に残る

そんな世の中を、人生百年時代で生きる若者たちが、何を学べば良いかと尋ねる。残念ながら、VUCAの時代と言われるように、予測不可能な未来が彼らを待ち受けている。スマホとコロナ禍とチャットGPTの出現を30年前に予測できなかったように、30年後の社会はさらに変化しているだろう。経済産業省が2022年に公表した「未来人材ビジョン」によれば、2050年に仕事で最も求められるスキルは、複雑な社会課題に対して、問いを自ら立て、未来を予測し、イノベーションを起こす力である。この力を会得するには、学術領域としては、クリティカル思考、システム思考及びデザイン思考を身につける必要がある。そして、変化し続ける社会に対して、生涯学び続け、自ら仕事を提案できる力をリスクリテラシーし続けることが求められる。

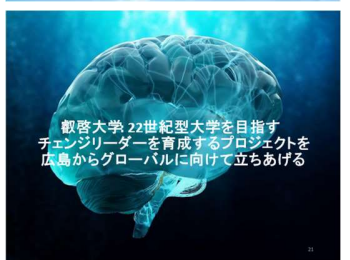
「仕事に必要な能力」はこれからは「問題発見力」の確かな予測「革新性」

仕事に関する66能力等に対する重要度、上位10位

2015年	2050年
注意深さ・ミスがないこと 1.14	問題発見力 1.52
責任感・まじめさ 1.13	的確な予測 1.25
信頼感・誠実さ 1.12	革新性 1.19
基本機能(読み書き計算等) 1.11	的確な決定 1.12
スピーク 1.10	性格・態度 1.11
柔軟性 1.10	管理職 1.11
社会常識・マナー 1.10	コンピュータスキル 1.09
粘り強さ 1.09	言語スキル・口語 1.08
基礎スキル(応用数学・読解力) 1.09	科学・技術 1.07
意欲積極性 1.09	柔軟性 1.07



叡啓大学は、この22世紀を生き抜く力の涵養のために開学された。叡啓大学が世に送り出す人財は、世の中を前向きに変えるチェンジリーダーである。彼らは、何歳になっても自分で学びを探し、学びを実践し、社会の変化に適応しつつ、自らも社会を変化させる。未来を予測する最善の方法は、自分であるべき未来を創ることだ。彼らは未来を設計するスキルを身につける。そしてAIには不可能で、人間の手に残る、未来を自ら創り、人をつなぎ癒す仕事をする。



チェンジリーダーを育成するため、日本初のソーシャルシステムデザイン学部というコンセプトに加え、叡啓大学にはさらに6つの日本初がある。将来の「伸びしろ」コンピテンシーを重視して学生を選抜・育成する卒業認定及び学位授与方針。

**日本初! 卒業認定・学位授与方針(ディプロマポリシー): コンピテンシー(資質・能力/将来の伸びしろ)重視の選抜・育成**

先見性	幅広い教養を基礎とする課題の多角的な視野で、グローバルな視点から将来を見通し、機動的な思考力などを用いて、社会の変化がもたらす本質的な課題を発見する力
戦略性	デジタルリテラシーを基礎に、探究心を持って新しい情報や知識の収集・整理・分析を行い、論理的思考力などを用いて、社会的課題を本質的に解決する力
グローバル・コラボレーション力	個人や社会の多様性を尊重し、外国語能力やコミュニケーション力を駆使して、異なる文化・価値観を有する者たちとも互いに価値観を尊重し、協働する力
実行力	リーダーシップを持って自らも主体的・積極的にチャレンジし、困難に直面してもあきらめず、最後までやり遂げることを通じて、物事を実行する力
自己研鑽力	高い志と倫理観を持って、自主的にわたって学び続ける姿勢を持って、自らを高めようとする力

**日本初! 社会を変える「実践力」養成: 日本最大規模で実施する「正解」のないリアルな課題解決演習(PBL)**

- 企業や地方自治体等が実際に直面している課題を扱う
- 学生は2~3年次において課題解決プロセスを4回体験
- 協力機関は100団体(マツダ、オプティム、UNITARなど)

課題解決演習PBLの選抜	課題解決演習PBLのテーマ	多様な学生をつなぐプラットフォーム
<ul style="list-style-type: none"> <li>「環境」</li> <li>「社会課題」</li> <li>「地域」</li> <li>「国際」</li> <li>「文化」</li> <li>「経済」</li> <li>「健康」</li> <li>「教育」</li> <li>「防災」</li> <li>「その他」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「環境」</li> <li>「社会課題」</li> <li>「地域」</li> <li>「国際」</li> <li>「文化」</li> <li>「経済」</li> <li>「健康」</li> <li>「教育」</li> <li>「防災」</li> <li>「その他」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な学生をつなぐプラットフォーム</li> <li>124校</li> <li>97</li> <li>25</li> <li>2</li> </ul>

**【集大成: 卒業プロジェクト(12単位)】**  
それまでの学修成果を踏まえ、最終年次で学生自ら解決すべき課題を設定し、課題の原因究明から解決策の提案までを行う。

**日本初! 学生全員を対象に個別のコーチング: コンピテンシー(資質・能力/将来の伸びしろ)重視の学生育成**

全学生対象のコーチングを開学以来実施。「だれも取り残さない」をモットーに、現状と将来やりたいことのギャップを可視化し、道筋をつけることを気付かせるキャリア支援

ビジネススクールとの連携授業。文理を超越し、SDGsを強く意識した「知の再統合」リベラルアーツ科目群の編成。そして、全科目で能動学習(アクティブラーニング)を実施し、日英2言語で開講するカリキュラムだ。

これら7つの日本初の学びの姿の構築の背景には、ここ数年急速に変化している大学での学びのリアリティがある。地域の俊英たちが「上京」し、高い学費と施設費と下宿代を払い、階段教室の座学とバイトにひなが一日明け暮れる。そして新卒一括採用後の数年間の企業研修でようやく一人前と認められる。この社会人育成モデルが終焉を迎えている。コロナ禍がその流れを加速した。「上京」したはずの大学生の多くは、地元でオンライン授業を受けていた。そして大半の企業には、一括大量採用で採った新卒を長い研修で社会人に育成する余裕はもはやない。

叡啓大学が実現したい人づくりのニーズがここにある。学びが「できる」人、すなわち与えられたペーパーテストで100点がとれる人ではなく、学びを「創る」人、すなわち自らこれが学びたいと個別の学問領域を結び付けて学びができる人。そして、与えられた仕事をそつなくミスなくこなせるといふ、仕事が「できる」人ではなく、卒業した翌日から、自らこの仕事がやりたいと、仕事を「創る」ことができる人。これがシンギュラリティ時代の社会ニーズである。社会を「知る」だけの学問ではなく、社会を「変える」ための学問、発想し突き抜け、やり抜く人財が社会に求められている。その学修の目標は、国連の持続可能な開発目標(SDGs)に具現化されている、地球と地域と人のウェルビーイングである。

「ウェルビーイング(心の幸せ)をテクノロジーと対話で加速する」を主要な研究テーマとし「多幸海」瀬戸内海の豊かなウェルビーイングを感じる広島の地において、チェンジリーダーを世に送り出す日本初の大学で、グローバルに開けた叡啓大学を開学した意義を総括し、卓話を締めくくる。

**【日本初】** シリコンバレーの起業家に学ぶ；スタンフォード大学SPICEと独立広島大学ビジネススクールとの連携授業を実施

- 叡啓大学では、社会アントレプレナーシップ教育を行う上での重要なカリキュラムとして、「実社会のリアルな課題に挑む課題解決演習(PBL)」を設置
- 叡啓大学は、スタンフォード大学Stanford Program on International and Cross-Cultural Education (SPICE: スタンフォード大学国際相互文化理解プログラム)、独立広島大学大学院経営管理研究科(HBMS)との3者共同で、シリコンバレーで活躍する起業家や専門家に、実践的かつリアルタイムでの授業を、SDGsの実現に向けた社会課題解決をテーマにしたPBLとして、2022年3月から開始、2023年3月に第一回実施。
- スタンフォード大学 SPICE のプログラムに 大学院生 (HBMS) と学部生 (叡啓大学) がチームを組んで参加するのは日本初

**【日本初】** 特長②: 社会を生き抜く「国際教養力」；「知の再統合」リベラルアーツで、文理超越

• 多様化・複雑化する課題を解決する上で基礎となる知識・スキルの修得  
• SDGsを意識したリベラルアーツ

5つのP	ウィンドウ	主な学習内容
People (人倫)	アイデンティティデザイン	多文化共生社会で、人々の多様性を尊重する仕組み等、社会課題に対応する知識(人文学関係)
Prosperity (繁栄)	ビジネスデザイン	グローバル化する経済・社会の仕組みや、産業、技術発展などに関する知識(経済学関係)
Planet (地球)	エコシステムデザイン	自然と共存しながら発展するための環境保全や生物多様性などに関する知識(理学関係のうち環境学部分)
Peace (平和)	Peace	Peace
	Partnership	Partnership

**【日本初】** 全科目で能動型学習・日英2言語で開講

すべての授業でアクティブラーニング

15分講義 10分グループワーク 10分発表

1日25人の少数人数教育 主体的に学ぶ 100分授業 2日連続授業で集中して取り組める

【広島県】叡啓大学校、2022年3月

